

旭化成の知財DX：特許AI「Patlytics」による侵害調査の劇的進化

従来の手動ワークフロー



 数か月

 **基準値**
(人件費・外注費が過大)

主たる業務領域：
データ収集・スクリーニング

Patlytics活用後



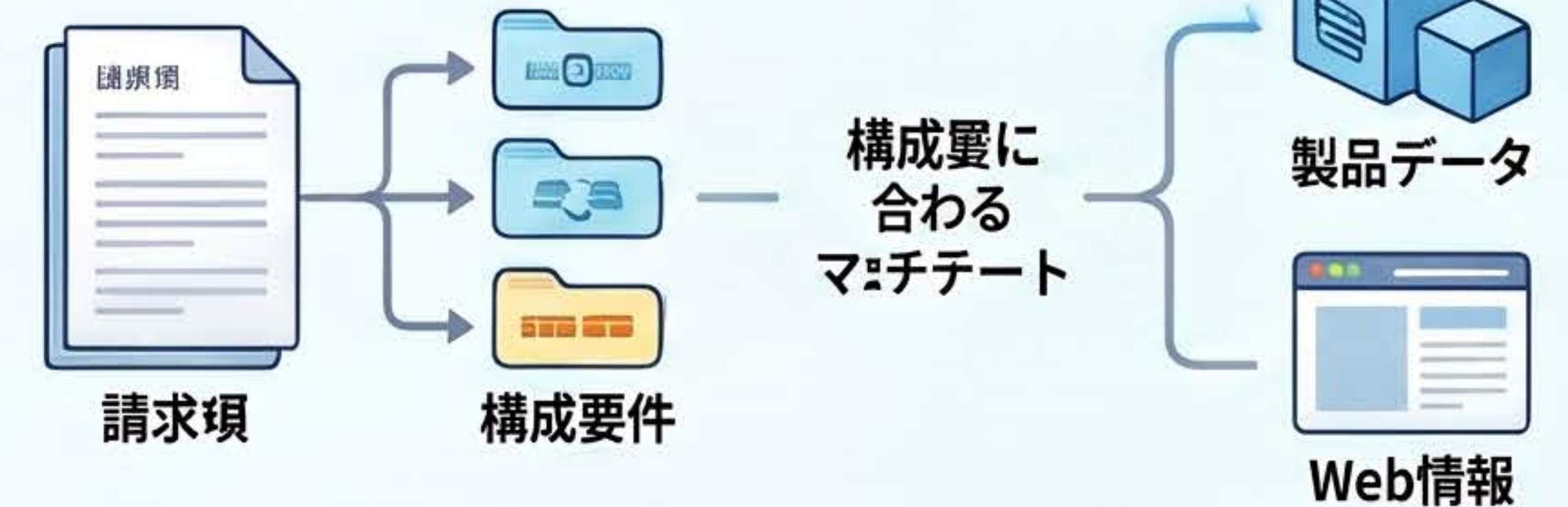
 数時間へ短縮



特許AI
「Patlytics」
の導入

調査プロセスの革新と信頼性の担保

(1) 自動構造化マッピング



(2) 「ピンポイント引用」による高い信頼性



(3) 3段階の視覚的判定



導入による圧倒的な成果と役割の変革

(1) 調査時間を「数か月」から「数時間」へ



自動化処理によりワークフローが劇的に加速し、意思決定の遅延を解消

(2) 1報告書あたり最大5,000ドルのコスト削減



作業時間の短縮が面談的なコスト抑制に寄与し、高い投資対効果(ROI)を実現

(3) 定型作業から「戦略的意思決定」へ



人材を単純な情報両取から解放し、ライセンス交渉や戦略優待ヘシフト